


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	総合的な学習の時間 「わたしたちがつくる未来～調べてみようSDGs～」
学年	小学校第6学年
目標 (本時のねらい)	○総合的な学習の時間の観点 収集した情報を整理・分析する。 ○プログラミング教育の観点 自分の意図する資料を作成したり発表したりするための手順(順序・組み合わせ)を考える。
教材タイプ	アンプラグド
使用教材	ワークシート プレゼンテーションソフト
環境	児童2名でPC1台を活用する環境
都道府県	東京都
実施校	練馬区立大泉北小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>①本時のめあてを知る。(伝えたいことを明確にして、スライド計画書をつくろう)</p> <p>②相手に伝わりやすい方法として、プレップ法とデスク法について知る。</p> <p>③具体例を基に、プレップ法とデスク法を活用して、ペアで話す。 ・児童は、自転車通学やスマートフォン持ち込みを例にして、順序を考えながら話していた。</p> <p>④スライド計画書を作成する。 ・児童は、自分の作成したポスターを基に結論や問題点を考え、伝える順序に重点を置きながらワークシートにまとめていた。</p> <p>⑤ペアでスライド計画書を基に相手に伝える。 ・実際に言葉で相手に伝えることで、児童は必要な情報の精査をしていた。 ・聞き手は、聞いて分かった部分、分かりづらかった部分を話し手に助言していた。</p> <p>⑥本時の学習を振り返り、次時の内容を聞く。(次時はPCを活用したスライド作成)</p>
	 <p>プレップ法とデスク法を用いて作成したスライド例</p>
成果と課題	<p>○具体例を教師が実際に作成したスライドで示すことで、児童が具体的な順序をイメージすることができており、主体的な活動につながった。</p> <p>○アンプラグドの実践ということもあり、論理的思考力育成の要素が大きかった。本時の学習をいかにプログラミング的思考の育成につなげていくかが今後の課題となる。</p> <p>○今後はコンピュータを用いたプログラミング教育にも取り組んでいく。</p>